

安心 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

(3) 安全な暮らしを実現する強^{きょうじん}靱な都市基盤の整備

⑨安心な暮らしを支える消防・救急体制をつくる



現状と課題

- ◆人口減少社会に対応した効果的な消防・救急体制づくりが求められています。
- ◆女性の消防職・団員の活動体制の充実によるきめ細やかなサービスの向上が必要です。
- ◆人口減少や団員の高齢化などにより消防団員数が減少しているため、団員の確保に向けた取組が必要です。
- ◆小規模社会福祉施設など新しい形態の施設に対する適切な防火指導が必要です。
- ◆危険物施設の老朽化による事故防止対策等の取組が求められています。
- ◆大規模な火災や事故等に対する備えのさらなる強化が必要です。

施策の方針

人口減少や災害の多様化など社会環境の変化を踏まえて、消防車両・資機材等の計画的な更新整備を図るとともに、ドローン操縦士資格取得者を養成するなど、迅速・的確・確実な災害対応ができる消防・救急体制づくりに努めます。

また、自治会や事業所、大学などに働きかけ消防団員の確保を図るとともに、消防団OBが消防団活動を支援できる体制を整備し、さらには、消防団詰所を計画的に順次建て替え、団員の活動体制の充実に努めます。

市民の防火意識の高揚を図るとともに、物品販売店舗や宿泊施設、飲食店など多数の人が出入りする建物および危険物施設等において、効果的な火災予防の推進を図ります。

自主防災組織の育成強化に取り組み、災害時に地域で助け合えるシステムの構築を推進します。



救急教室



救助訓練(車両)